

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	久米川保育園
日時	令和7年11月26日

1. 活動テーマ

<テーマ>

自然・・・1歳児「秋の自然物を使った表現活動」

<テーマ設定理由>

秋になってから散歩に出掛ける機会を増やしています。近隣の公園や霊園、園庭では思い切り全身で秋を感じ、さまざまな自然の中で、手に触れて、足で踏んで、感触や音を楽しみ、色づいた様々な形の落ち葉、どんぐり、まつぼっくりに触れてました。今回は自然の中で出会った様々な自然物を使った表現活動を行いました。

2. 活動スケジュール

自然に触れる園外活動

- ・9月8日 近隣の公園
- ・9月22日 団地内の公園
- ・9月25日 団地内の公園
- ・9月26日 団地内の公園
- ・10月24日 団地内の公園
- ・11月6日 近隣の霊園
- ・11月13日 団地の原っぱ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・落ち葉 ・ポンド ・手拭き ・机 ・椅子
- ・撮影用iphone

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・おやつ後にテーブルに子ども達が拾ってきた葉っぱを置く。
- ・まずは散歩に出掛けて葉っぱを拾ってきたこと経験をこの日の表現活動につなげられるように、落ち葉に触れる時間を設けた。
- ・子ども達は慣れ親しんでいる葉っぱに直ぐに触れて手にもっている。
- ・色が分かるようになってきた子どもは、自分から「きいろ」と話している。
- ・大きさも様々な葉っぱは、どれを選ぶかも子ども達によって違い、大きい葉っぱをもって嬉しそうにしたり、小さくても満足している子どもがいる。
- ・テーブルに子どもが先日絵の具で塗った秋の自然の様子を描いた模造紙を置く。
- ・木工用のポンドは子どもがまだ塗れないので、保育士が子どもが選んだ葉っぱに塗る。
- ・好きな場所を選んで子どもが葉っぱを貼る。
- ・満足するまで何枚も貼っている。
- ・興味を持った子どもから始める。
- ・全員が経験し、保育室の壁面に飾る。
- ・自分で貼ったことが嬉しい様子で、指差して眺めている。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>

- ・秋の自然にたっぷり触れながら「見つけた・感じたもの」を自分なりの言葉と動きで表現している
- ・葉っぱを耳に当てている。動物のイメージを抱いている様子。
- ・皿いっぱい葉を見つめたり、手に取って葉っぱに存分に触れている。
- ・葉っぱを取って友だちに見せる。
- ・「おっかい」「きいろいはっぱ」「あった」など、葉っぱを見てつぶやいたり、保育士に伝えようとしている。
- ・葉を指先でつまんでそっと置く。
- ・何度も位置を直して自分なりにどこに貼ろうか考えている。試しているようにも見受けられる。
- ・貼り方にも「自分のこだわり」「その子どもらしさ」を感じられる。
- ・葉っぱを見せ合う姿も見られ、「同じことをしているうれしさ」や「一緒にやると楽しい」という気持ちも感じる。
- ・大きな画用紙の上を自由に歩くように手を動かし、空いているところを見つけて葉を貼る姿もある。
- ・「カサカサ」「ふわふわ」など、触感の違いを手で確かめている。



1. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたちが自然物を集めてきたものを使って一緒に作るこの活動では、保育士は環境を通して経験してきた保育の内容と表現遊びに発展させたつながりや連続性の大切さを感じました。
- ・公園で葉や木の枝を集める経験を通して、子どもが五感を使った楽しい経験を生かして、より楽しく秋の季節の表現活動を楽しむことができたと思います。
- ・机いっぱいに広がる大きな画用紙や皿に分けた葉など、子どもが自分で選びやすく、手を伸ばしやすい配置にしていると思います。
- ・1歳児が葉っぱをつまむ・貼る・こするなどの動きから、指先を使った動きが遊びの要素に含まれています。1歳児にとって楽しみながら経験できることが良いと思いました。
- ・葉を耳に当てたり、見せ合ったりする姿から、見立て遊びの芽生えが見られると思いました。
- ・友達と一緒に楽しむことで、友達と一緒にやる楽しさや友達への関心・共感の広がりにつながる活動だと思います。
- ・保育者が糊付けなどの「できない部分」をさりげなく手伝いながら、好きなように子どもが選んで貼る場所を決められることで「自分でやった」という達成感を得ることができました。
- ・「やってみようから」「真似したくなったタイミングで」参加できるよう声をかけることで、1歳児のペースや主体性を大切にしています。
- ・小枝や乾いた葉など誤飲・けがにつながりやすい素材を使う活動では、事前点検や見守りの位置、声掛けの仕方など、安全と表現活動のバランスをどうとるかということが課題となることを感じました。
- ・完成作品だけでなく、表現活動をしている過程（葉を選ぶ表情や手の動き、友だちとのやりとり）を写真で残すことで、遊びの様子が保護者や職員間で伝わりやすいと思いました。
- ・振り返りの中で、「次はどんな自然物を用意すると感触や音の違いをもっと楽しめるか」など、継続的な保育計画へつなげる活動にしたいですね。